

会報第23号  
発行日 平成18年8月31日  
発行・編集 V・G 概輪  
代表者 大岡成一  
http://web3.ibj.co.jp/~kirin/

# わがまち紹介

## 自然と史跡の探訪 大山崎

月日 平成18年8月17日  
案内 「ボランテイア・グループ  
大山崎ふるさとガイドの会  
順路 阪急大山崎駅→大山崎町歴史資料館→国宝「待庵」→山崎宗鑑句碑→大念寺→宝積寺(宝寺)→サントリ→山崎蒸留所見学→離宮八幡宮→JR山崎駅

【概要】大山崎町は、京都府の南西端に位置し南は大阪府と接し、古代には山城・摂津両国の国境を警護する関所がありました。面積約6平方km 西の天王山から東の桂川まで最も狭いところでわずか約200m、人口約1万6千人の京都府内で最も小さな町です。この小さな町をJR東海東横線 新幹線 阪急電車 国道171号線 旧西国街道の交通網が縦断し、名神高速道路(大山崎IC・Jct有り)が天王山を貫通しています。

三川が合流して淀川となり、対岸に男山(八幡市)をのぞむ雄大なロケーションが展開します。

「待庵」の原寸大の復元模型 近世コーナー(城下町・神領支配)と大山崎町の歴史や文化等を展示しています。

### 山崎津

山崎は、西国街道・三川合流点(木津川、宇治川、桂川)に当たり、奈良時代には瀬戸内海から淀川、木津川を経て平城京に至る河川交通の要衝の地として山崎の駅が置かれ、僧行基によって淀川に山崎橋



(河陽大橋)が架けられた。平安時代には、毎年4月、天皇の勅使が離宮八幡宮を経て、石清水八幡宮に詣でたが、勅使が対岸に向かう行事は、五十余艘の船を仕立て藤の花をかざした壮麗な行列で、「日使頭祭」と呼ばれた。

賜って山崎に「油座」(組合)の制度が引かれました。諸国の油商人は本宮から許状を授与されるに至り、離宮八幡宮は油の販売権を独占して栄えて行きます。

### 大念寺

重要文化財の「阿弥陀如来立像」が有名です。約81センチの小さな仏様です。像内から弟子達が結縁納入した数々の品物が発見されました。

### 離宮八幡宮

JR山崎駅を降りてすぐの南西側に「油の神様」として有名な離宮八幡宮がある。平安時代の初めころ、太陽がわが身に宿る夢を見た清和天皇のお告げにより、豊後国の宇佐八幡宮から神霊を奉じて帰郷した僧行教が山崎の地に霊光を見たので掘ったところ、岩間に清水が湧き出したので、石清水八幡宮を創建したとのことである。その後、石清水八幡宮は、対岸の男山に分神され、山崎の八幡宮は嵯峨天皇の河陽(かや)離宮があったことから、離宮八幡宮と呼ばれるようになった。O・S

## 10月度行事予定 “隠れキリシタンの里：千提寺地区”

月日：平成18年10月19日(木)  
集合場所：阪急茨木市駅(北口)バス停8：45集合  
交通案内：阪急バス 阪急茨木1-②乗り場8：55発 忍頂寺行き 千提寺口バス停下車

# V.G 概輪だより

### 大山崎町歴史資料館

大山崎ふるさとセンター 1・2階に大山崎町歴史資料館が有ります。 エントランスルームでは、町全体の地理・歴史がわかるようにパネル等が展示されています。



両側が竹林になった通路を入ると館内に名水にちなむ井戸が見えます。左側から古代コーナー

(石器時代の石器から土器など・山崎の関所等)、中世コーナー(油生産と町の繁栄)、国宝の茶室「待庵」の原寸大の復元模型

「待庵」の原寸大の復元模型 近世コーナー(城下町・神領支配)と大山崎町の歴史や文化等を展示しています。

山崎宗鑑は室町時代の連歌師で、若い頃から連歌になじみ、反骨精神と滑稽を身につけていた宗鑑は、

### 山崎宗鑑句碑

山崎宗鑑は室町時代の連歌師で、若い頃から連歌になじみ、反骨精神と滑稽を身につけていた宗鑑は、



本堂左横にある小槌宮には大黒天がまつられ、打出の小槌で、参詣者に福徳を授けています。

## 9月度行事予定

### “自然と開発の調和を問う：成合地区”

月日：平成18年9月28日(木)  
集合場所：春日神社境内 13：15集合  
交通案内：市バスJR南⑥乗り場 12：46 上成合行き 上成合下車 徒歩約5分